

平成24年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	ヘルシー牛肉生産経営確立事業補助事業		基本目標	農業経営基盤の強化			
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	新名 修	評価者	田中 義基	開始年度 H23 年度

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	宮崎県乳用肥育事業農業協同組合											
	意図・目的	「安全・安心」「美味」をコンセプトにした牛肉の生産と地域ブランドの確立を図る											
事業の内容	乳用牛肥育素牛の導入費 1千円/頭												
23年度決算額		667	千円	24年度予算額		1,440	千円	事業従事者数	H23 0.13	人	H24 0.08	人	
主な支出項目	負担金補助及び交付金	667	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	23年度人件費	914 千円				
			千円		県支出金		千円	24年度人件費	572 千円				
			千円		地方債		千円	24年度予算額における一般財源の割合(H24)		100.0	%		
			千円		一般財源	1,440	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください					
			千円				千円						
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		ヘルシー牛肉生産経営確立事業補助金								
	補助交付団体		宮崎県乳用肥育事業農業協同組合		補助金要綱		ヘルシー牛肉生産経営確立事業補助金交付要綱						
	23年度	補助額	667	千円	補助の形態	奨励的補助	H24年度補助額	1,440	千円	終期	25	年度	
		団体の決算額	90,014	千円	H23年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等								
		補助の割合	0.74	%									
繰越額		0	千円										

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 地域ブランドの確立	ハーブ牛の増頭	
	2		
	3		
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 飼養条件の確立	補助金交付申請にあたり、肥育体系表を添付させる	
	2		
	3		

◎達成状況

	指標名	単位	22年度	23年度	24年度
			地域ブランドの確立	目標値	
成果指標	地域ブランドの確立	実績値		667	
		達成率		95.3%	
		目標値			
		実績値			
		達成率			
		目標値			
活動指標	飼養条件の確立	目標値		1	1
		実績値		1	
		達成率		100.0%	
		目標値			
		実績値			
		達成率			

事務事業名	ヘルシー牛肉生産経営確立事業補助事業	担当課(局)	産業振興課
-------	--------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	担当者記入欄	評価する項目	点数
			自己評価
(必要性)	ハーブ牛という地域ブランドの確立	◎目的からして町が行うべきか	2
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適応しているか	2
		◎事業廃止による影響があるのか	2
有効性	事業名こそ違え、かなり以前から同様の事業を実施しており、平成20年度に乳用肥育農家が全国優良畜産経営管理技術発表会にて農林水産大臣賞を受賞されている。	◎目標に対して成果は得られているか	1
		◎すでに目的は達成されていないか	1
効率性	別事業の黒毛に対する補助に比べれば額は低いが、乳用肥育に対する町の姿勢は示している。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1
		◎費用対効果が十分に認められるか	1
協働性		◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0
合計(最高18点)			12

※町補助をしている場合のみ記入

(公平性)	町内には乳用肥育農家が近隣と比較しても多い3農家存在し、口蹄疫前の飼養頭数は3,100頭強に上り、これは系統農家の飼養頭数の合計(1,600頭)を大きく上回る。条件は十分クリアしていると考ええる。	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1
		◎町民の理解が得られる事業であるか	1
合計(最高4点)			3
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	今後の方向性	今後の方向性			
			拡充	維持	縮小	廃止
総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	乳肥農家のブランド牛確立の両の意欲を増進させるためには継続した事業が必要			○	
			廃止	縮小	維持	拡充
			コスト			

◎事務事業評価委員の意見等

<ul style="list-style-type: none"> 地域ブランドの確立の面からも必要だが、今後の考え方を整理すべきである。 補助金の終期以降の事業をどう考えるのか、今から検討しておく必要がある。なお、交付対象者が黒毛和牛繁殖への転換を図っている状況ならば、この事業は見直すべきである。 対象農家の方針(量より質)を考慮すると、コスト面は縮小となってしかるべきである。 	◎今後の方向性	
	事務事業評価委員会	
	判定	維持
	外部評価委員会	
	判定	